

2025年第2回東海地区オリエンテーリングクラブ連絡協議会 次第

2026年1月24日(土) 13:30~
名古屋南生涯学習センター(第2集会室)

〔議題〕

1. 第32回東海クラブカップリレーについて(三河OLC)
2. 第33回東海クラブカップリレー主催者について
(今後の主催・主管・後援について)
3. 2026年度上半期大会開催日程について
4. オリエンテーリングで起こりうる一般的なリスクと対策(再確認)
5. 各会員からの提案事項について
6. その他

2026上半期大会開催計画

開催期日(時期)	大会名	開催場所	主催(主管)	内容等
2月1日	岡崎岩津 オリエンテーリング大会	愛知県岡崎市	あいちシニアオリエンテーリング愛好会	
2月8日	全日本スプリント2025	兵庫県淡路島	公益社団法人日本オリエンテーリング協会	
2月15日	第32回東海クラブカップリレー	岐阜県各務原市	三河OLC	
3月14日-15日	インカレミドル・リレー2025併設大会	三重県伊賀市	日本学生オリエンテーリング協会	ミドル・リレー
3, 4月	ミニトレーニングを企画中	三河地域(詳細未定)	あいちシニアオリエンテーリング愛好会	タイム計測をする日を設定することを検討
4月12日	富士山麓大会2026	静岡県富士宮市	静岡県オリエンテーリング協会	
5月10日	ぎふスポーツフェア2026 チャレンジ オリエンテーリング	岐阜市岐阜メモリアルセンター	岐阜県オリエンテーリング協会	スプリント・初心者体験(新歓歓迎)
12月		西尾市	あいちシニアオリエンテーリング愛好会	

※ 正式決定でないものも記入してください。

プログラム用ひな形（フォレスト競技用）

「オリエンテーリングで起こりうる一般的なリスクと対策」

オリエンテーリング未経験の方は必ずご一読をお願いします。

① 道迷い

現在地を見失った場合は、周囲の大きな道路や林道に出ることなどで比較的容易に現在地を把握できる可能性があります。必ずフィニッシュ閉鎖時刻までにフィニッシュへ戻ることを意識してください。

② 気象・気候によるリスク

・低体温：寒い時期や体が濡れたりした場合、低体温症になる可能性があります。予防のため、保温性に優れた衣類の着用や体が濡れない工夫を推奨します。

・熱中症・脱水症状：暑い時期、直射日光があたる場合、湿度が高い場合などは、熱中症や脱水症状に罹患する危険性があります。事前の水分補給をしっかりと行い、コース途中の給水所もご利用ください。場合によっては、飲料水を携行してください。

③ 外傷（けが）のリスク

急斜面・不整地・植物などのために、打撲、転倒、転落、落石、踏み抜きなどから、さまざまな外傷、ねんざ、骨折、脱臼、肉離れ、視力低下に至る目のけがなどの危険性があります。衣類（長袖、長ズボン、底の厚い靴を推奨します）に留意し、場合によっては、手袋、帽子、ゴーグルなどの装用も検討してください。安全に留意しながら競技を行ってください。

④ 動植物によるリスク

大型の動物（クマ、イノシシなど）に遭遇する可能性、小型の動物・昆虫類（蜂など）に刺されたり噛まれたりする可能性、植物にかぶれる可能性などがあります。動物類については、主催者の提供する情報を参考に対応してください。また、肌の露出を少なくすることを推奨します。

⑤ 全身疾患などのリスク

オリエンテーリングは身体にかなりの負荷のかかるスポーツです。競技が長時間になると、低血糖、脱水症状などの危険性があります。また、心臓に過大な負担がかかることがあります。普段から体調管理に留意するとともに、競技前にはウォームアップを行い、体調に不安がある場合は競技続行を取りやめることも考えてください。

⑥ 救護について

大きなけがや捻挫、体調不良などによって自力での移動が困難になる可能性があります。連絡手段が乏しいことなどから、救助を行うために現場に到達するのに時間がかかる場合があります。

万が一動けなくなった場合は、大声を出すなどして、他の競技者に救助を求めてくだ

さい。笛の携帯を推奨します。携帯電話・スマートフォンは、競技においては他人との情報交換や位置情報を取得する目的での使用は禁止されていますが、安全管理上主催者が携行を許可・推奨する場合があります。携帯電話を携行している場合は、ただちに地図に記載されている緊急連絡先に連絡してください。

⑦ その他

(各大会に応じた追加項目を記載する)

【参考】ナビゲーションスポーツのための安全ガイド (日本オリエンテーリング協会)

https://www.orienteering.or.jp/archive/JOA_safety_manual2022ver.5.pdf

プログラム用ひな形（スプリント競技用）

「オリエンテーリング（スプリント競技）で起こりうる一般的なリスクと対策」
オリエンテーリング未経験の方は必ずご一読をお願いします。

スプリント競技は公園や市街地などで開催され、競技時間も短いために、自然環境によりもたらされるリスクは低いですが、一方でその競技特性は以下のようなリスクをはらんでいます。

① 他者との接触・衝突

競技走行中は他の競技者や競技者以外の歩行者等との接触・衝突のリスクがあります。市街地では建物等により見通しの悪い場合があり、出合がしらの衝突なども起こりえます。万一、接触・衝突してしまった場合は、必ず大会運営者へ申し出てください。

② 自動車・自転車との接触・衝突

道路等を走行する場合は、自動車や自転車との接触・衝突のリスクがあります。大会主催者は、コース設定において配慮を行い、危険個所の明示や事前広報の実施等によるリスク低減に努めますが、ご自身でも周辺状況に注意してください。

③ 高速走行と高い身体負荷によるケガ・疾病

スプリント種目は高速で走行することが要求されるため、急激に身体負荷が高まります。また市街地の場合、階段・段差などが多くみられ、路面が固かったり雨で滑りやすくなっていたりすると、転倒の際に強度の打撲傷・骨折等を負うリスクがあります。ケガや心臓血管系の疾患を避けるためにも、競技前後には十分なウォームアップおよびクールダウンを行ってください。体調に異変を感じた場合はすみやかに競技を中断してください。

④ 脱水症状・熱中症

暑い時期、直射日光にあたる場合、湿度が高い場合に激しい運動を行う場合、十分な水分の摂取を怠ると、脱水症状になり熱中症を発症するリスクが存在します。競技前後にはこまめに十分な水分摂取を行ってください。

⑤ 器物損壊

走行中の接触・衝突等により、生垣、柵等の人工物等を損壊しないよう注意してください。万一、損壊してしまった場合は、必ず大会運営者へ申し出てください。

⑥ その他

（各大会に応じた追加項目を記載する）

【参考】ナビゲーションスポーツのための安全ガイド（日本オリエンテーリング協会）

https://www.orienteering.or.jp/archive/JOA_safety_manual2022ver.5.pdf

提案項目	提案者	提案内容
公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認める判断(問題提起)等 および 今後の岐阜県協会の活動について	岐阜県協会 牧ヶ野	別紙参照
定例会には1クラブ複数人の参加も歓迎としたらどうでしょうか	あいちシニア 小野	大会の中心となって動いている方や意見・提言をお持ちの方にも出席していただき、イベントのアピールや質問に対する回答、提言者からの直接の説明で活発な会議とする。
大会以外のクラブの活動の紹介	あいちシニア 小野	クラブの定例会、機材、機関紙、技術向上活動、普及稼働などを紹介、意見交換により、互いのレベルアップを図る
東海クラブカップリレーの主催・共済・主管について	愛知県協会 小川	賠償責任保険に関して

2025年10月26日

公益社団法人日本オリエンティング協会 理事会 御中

岐阜県オリエンティング協会
会長 橋本八州馬

公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認める判断(問題提起)

岐阜県協会では、10月19日に岐阜県下呂市にて、ねんりんピック2025岐阜大会に併設したオリエンティング大会を、JOAの公認認定を得て開催しましたが、JOAは前日に群馬県、および同日に埼玉県で開催された大会をランキング対象イベントに指定し、ねんりんピック併設大会の参加者に少なからぬ影響を与えてしまったことがわかりました。

この件について、JOAに強く問題提起するとともに、JOAの組織としての見解をお伺いし、本文書を提出する次第です。

JOAでは、2019年から2021年にかけて公認大会改革に取り組み、2021年1月3日付で報告書を公表しました。その中で、「公認大会は高品質の大会を目指して継続していくこと」、「そのためにJOAもできる限りの努力をしていくこと」、「JOAは地方での開催をサポートしていくこと」などが述べられています。

しかしながら、公認大会であるねんりんピック併設大会に合わせ、ランキング対象イベントを認める判断は、JOAが示した方向性にまったく逆らうものと考えます。

2021年に戻ります。公認大会改革の報告書が公表された後、公認大会の品質を上げていくために、公認申請があればすぐに認可するのではなく、厳しく審査するように舵を切るなどの施策がスタートしました。

最初の公認大会となったのは2022年10月30日に福島県協会が主催した富岡スプリント大会でしたが、かなり厳しい審査の末に公認が認められました。ところがJOA内の一部組織に方向性の理解が行き届いておらず、同日に開催された朱雀OK30周年記念大会が日本ランキング対象大会に指定されるという事態が起きました。同日開催が問題視されるのは、ここで言うまでもないことですが、競技者に対して公認大会に出ないことを推奨するような選択肢を与えることになるからです。当然のように全日本委員会が糾弾されて、謝罪がなされたこと記憶しています。

今回のねんりんピック併設大会は、1年以上前から公認申請をして開催を告知していました。岐阜県協会が前日の大会がランキング対象になっていることに気がついてJOAの理事に問い合わせたところによると、KOLCからランキング対象大会にしたという申請があった段階で、担当者(全日本大会委員会と推測する)は、ねんりんピック併設の公認大会が翌日に開催されることは認識していたが、同日でないで問題ないと判断したとのことでした。そして、そういう回答があった後で、さらに同日開催の浦和高校の大会がランキング対象大会に指定されていたことがわかりました。

群馬県での大会に参加した後、岐阜県に移動して連日大会に参加するのは、常識的に考えて現実的ではありません。同日開催と同じことです。本質的なところが理解されていないと感じていました。それからさらに、追い打ちをかけるように埼玉県で同日開催の大会までランキング対象に指定することは、本質的なところの理解どころか、公認大会を開催しようとする地方の県協会をサポートしようとしていないと受け止めざるを得ません。

かつて2022年4月24日に三河OLC設立45周年記念大会が公認大会に認定された際には、同日に入間市OLCの大会が計画されていることがわかり、競技委員会が仲介して開催日をずらしてもらったということもありました。それと比較しても今回のことはとても残念です。

岐阜県協会は会員が少なく、かつ高齢化が加速しています。県下にオリエンテーリング部を有する大学、高校もなく、大きな大会を開催するには困難が伴う環境にあります。それでも、ねりんピックでオリエンテーリング競技を開催しようとするのは、JOA がオリエンテーリングは生涯スポーツであると謳っていて、たとえ 60 歳以上が対象であっても普及に努めることに意義があり、地方でも可能な限りの努力をしようとするからです。さらに当初、ねりんピックは独立した大会とする予定でしたが、よく手入れがされている山林であり、高いレベルのコースが提供できると考えて、併設クラスを設けて公認申請をすることにしました。

岐阜県協会はオリエンテーリング人口が少なくスタッフとして関わる人手が足りないことが懸案でしたが、愛知県在住のオリエンティアを初め他県からも運営協力（者）を得て、かつ下呂市からも競技に直接かわからない部分で要員を提供してもらうなどして、運営体制を整えました。競技責任者、コースプランナー、イベントアドバイザーは、公認大会にふさわしいレースの場を提供するために、腐心してきました。開催地の岐阜県も下呂市も併設大会を JOA 公認として開催することを歓迎してくださいました。運営要員の派遣以外にも、熊対策の爆竹砲や送迎バスの経費を捻出してくださるなど、多大な協力をしてくださることに なりました。さらに、全日本大会での事故を踏まえて、競技者にココヘリを携行させるための費用も負担してくださいました。

JOA の公認する競技会の意義を軽視された上に、地方協会の必死の努力が踏みにじられたことは残念でなりません。

以上を踏まえて、以下の 2 点に回答を求めます。

1. 公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認めるという決定をするにあたり、JOA 組織の中のどこまでの人間が関与または承知していたのか？
2. 公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認めることは、JOA 組織として妥当であったと考えるのか？ あるいは妥当ではなく、何らかのチェック機能を働かせるべきであった、と考えるのか？

岐阜県協会としては、上記について誠実な回答を求め、その回答により今後の対応を検討したいと思っております。

この機会に追加で指摘させていただきます。

コンプライアンスの面から、全日本委員会の組織には問題があると考えています。オリエンテーリングの地図作成や運営を生業とする者(以下、プロ業者)が、全日本委員会の委員に名をつらねています。以前、都道府県協会(正会員)が回り持ちで運営を行っていた全日本大会が競技レベルの向上に伴って、参加者の要望が高度になり正会員で全日本大会を運営することが困難となり、運営を引き受けることができる正会員が減少してしまいました。全日本大会改革ということでプロデューサー制が導入された時代にプロ業者がプロデューサーとなってスタッフを集めて大会を開催する形が数年経過した後に実行委員会制に移行する中で、プロ業者がそのまま実行委員会の中心となって大会開催を司るというスタイルはそのまま踏襲され、現在のよう実行委員会の中に恒常的にプロ業者が参画することになったのではないかと考えられます。しかし、これはコンプライアンスという点からすれば、大きな問題を孕んでいることは明らかです。

全日本大会を維持・発展させていくためには、プロ業者とは共存を図っていくべきだし、そのために意見交換をしていくことは当然必要であると理解しますが、実行委員会と業者とが一体化した組織であれば、業者の言いなりになっているのではないかと、特定の業者ばかりが利益を独占しているのではないかなど、外部からも指摘されることになります。

さらには、全日本委員会とアスリート委員会を兼任する委員がありますが、これは利益相反を招く恐れがあります。例えば、全日本大会の参加費が高騰したとして、アスリート側が参加費の抑制を求めたとしても、全日本委員会と兼ねる委員が抑え込んでしまった捉えられてしまいます。

コンプライアンスとは、外部からの視点に立って、信用できる組織なのかどうかということですから、そのあたりを理事会でしっかりと議論して認識を正していただくことを希望します。

なお、この文書は、各都道府県オリエンテーリング協会へも問題の共有化のため別途送付を予定しています。以上

タイトル: 未回答事項についての問い合わせ

岐阜県オリエンテーリング協会 会長 橋本八州馬です。

岐阜県オリエンテーリング協会では、1/4 に協会理事会を開催いたしました。
掲題の件について、当県理事一同にて協議しましたので、ご連絡します。

1:経緯と現状

2025 年 10 月 26 日付で岐阜県オリエンテーリング協会より JOA 理事会宛てに文書「公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認める判断（問題提起）」（文書を再添付）を送付しましたところ、10 月 26 日に、JOA 事務局より、「頂きました問題提起について、理事会での討議、対応となりますので少々お時間を頂戴いたします。何卒宜しくお願い致します。次回理事会は 2025/12/6 です。」との連絡をいただきました。

しかしながら、JOA 理事会から 1 ヶ月以上が過ぎた 1 月 7 日時点では、何の回答もいただけておりません。いつまで回答をお待ちすればよいのか、教えていただけますでしょうか。

なお、12 月 6 日の JOA 理事会の議事録を拝見したところ、10 月にいただいたメールに「理事会での討議、対応となります」と書かれていたにもかかわらず、「審議事項」「報告事項」「討議・意見交換」のいずれにも当該議題が頭出しされておられません。

改めて、以下の 2 点に回答を求めます。

- 1. 公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認めるという決定をするにあたり、JOA 組織の中のどこまでの人間が関与または承知していたのか？**
- 2. 公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認めることは、JOA 組織として妥当であったと考えるのか？ あるいは妥当ではなく、何らかのチェック機能を働かせるべきであった、と考えるのか？**

さらに、問題といたしますのは、岐阜県オリエンテーリング協会から提出した問題提起文書においては、「誠実な回答を求めます」と明記しておりますが、それに対する返信として、上述の通り、理事会まで回答を待つようにという趣旨のメールがあったにもかかわらず、当該文書について議論された様子が見えませんが、連絡もないことです。

2)休会制度と会費制度についての意見書

また、昨年 6 月の総会で、JOA 正会員として、休会制度や会費の傾斜制について総会で議論してほしい旨の意見書を提出しましたが、その場に同席した理事から個人的見解のご披露があったものの、JOA 理事会において正式な議題として取り上げられることもなく、棚上げにされてしまったと認識しておりますことも申し添えます。

言うまでもなく、県協会は JOA 正会員であり、総会での発言はないがしろにされて良いレベルのものではないと考えます。
ご回答方お待ちしております。

「チャレンジ・オリエンテーリング」開催!

岐阜メモリアルセンターでオリエンテーリング! 初心者でも安心、経験者も楽しめます!!

小さなお子さんをはじめ家族の方など、広く多くの方にオリエンテーリングを体験していただくために開催します。
また、大学や中学・高校の初心者指導の場や、スプリント練習の場としても、是非、ご参加下さい。

1 期 日 **2026年5月10日(日)** 随時受付 9時30分から12時30分まで(競技終了は13時)
小雨決行、荒天中止(中止の際は、事前申込の方に当日午前7時までにメール連絡します)

2 会 場 **岐阜メモリアルセンター**(岐阜市長良福光大野 2675 番地の28) →
集合場所:芝生広場の南 淡墨桜 レリーフ前
JR岐阜駅から岐阜バス約20分 三田洞線または、市内ループ線



3 主 催 ぎふスポーツフェア 2026 実行委員会

4 主 管 岐阜県オリエンテーリング協会 ⇒



5 参加資格 どなたでも参加できます。

6 参加単位 個人、グループ(2人~5人)

7 競技規則 日本オリエンテーリング競技規則に準拠

・ 競技種目 ポイントオリエンテーリング

初 心 者 コース 距離約1km、コントロールポイント数約8個(いずれも予定)

チャレンジコース 距離約2km、コントロールポイント数約15個(いずれも予定)

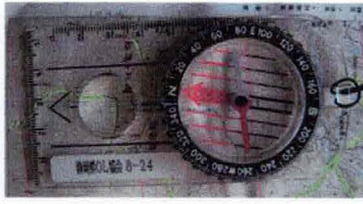
・ 通過証明(チェック方式)は電子パンチ(SI パンチングシステム)を使用。

SI カードは準備します。(無料貸出)

・ 1:3,000 5色刷り オリエンテーリング用地図 コース印刷済み ビニール袋封入 (予定)

8 参加料 **500円/人、グループ(当日、お支払いください。2コース走っても同一料金。)**

地図とコンパスを使って、地図に書かれているいくつかの地点を順番に見つけてゴールするまでの所要時間を競うよ!



9 表 彰 なし

10 申込方法 **4月30日(期限厳守)までに**、①から⑥の内容を下記の間合先までメールにてご連絡ください。

①参加者全員の氏名、フリガナ、性別、年齢(イベント当日)、②代表者住所、③代表者連絡先(携帯番号)、

④代表者メールアドレス、⑤緊急時本人以外連絡先、⑥コース(初心者、チャレンジ、両方)

メール受信後、受付メールを返信します。受付メール無い場合、間合先の携帯電話にご連絡ください。

当日の申し込みは、事前受付を優先しますので、地図がある限りの中でのみ参加を受け付けます。

11 問 合 先 E-mail mototomo■dl.dion.ne.jp (■に@を入れてください) Tel 090-5635-6650

12 そ の 他

・ 希望者にはコンパスを無料で貸し出します。運動出来る服装と靴で参加してください。

・ 初心者の方にはスタート前に、地図の読み方などの説明をおこないます。

・ 参加者はマナーを守り、大会運営に御協力ください。また、一般の施設利用者に迷惑をかけないように注意し、センター内の樹木や施設を傷つけないでください。

・ 参加者は自分自身の健康状態を考え、絶対に無理をしないでください。保険証の持参をお勧めします。

・ 競技中の怪我等については応急手当までとし、参加者が自己または第三者に与えた事故・損傷・損害等についても主催者及び主管者は一切の責任を負いません。行事賠償責任保険及び傷害保険は主催者で加入しますが、限度があります。オリエンテーリングは野外で活動することをご理解の上、ご参加ください。

・ 申込時に連絡を頂いた情報等は本イベント開催及びオリエンテーリングのご案内以外には使用しません。